

2026年10月20日
AZ-COM丸和ホールディングス株式会社**当社代表取締役社長の和佐見勝が東京大学基金に寄附を実施
～災害対策研究から芸術領域、若手研究者育成まで幅広い教育活動を支援～**

AZ-COM丸和ホールディングス株式会社（本社：埼玉県吉川市、代表取締役社長：和佐見勝）は、このたび、代表取締役社長である和佐見が個人資産より、国立大学法人 東京大学に1億円の寄附を行いましたので、下記のとおりお知らせします。

1. 寄附概要

寄附先：東京大学基金（東京大学大学院情報学環・学際情報学府および東京大学目黒研究室）

寄附目的：

- (1) 日本企業の災害対策と企業価値向上に資する仕組みの設計と社会実装に関わる研究および社会活動
 - (2) 学術と芸術の融合環境としての情報学環・学際情報学府における芸術的環境整備と若手芸術家支援
 - (3) 情報学環・学際情報学府の若手研究者および学生の研究・学修活動支援
 - (4) 災害対策トレーニングセンター、災害対策エグゼクティブ・プログラム、一般社団法人分散型防災データ利活用協議会の活動支援
 - (5) 国内外の災害対策推進および安全・安心社会の構築に寄与する研究・実践活動支援
- ※なお、和佐見は、本年から3年間にわたり寄附を行うことを計画していく考えです。

2. 贈呈式概要

日時：2026年10月13日（火）

会場：東京大学 安田講堂

当日は、和佐見から藤井輝夫総長へ目録を贈呈し、寄附の趣旨と目的について説明しました。これに対し、東京大学からは藤井総長より感謝状をいただきました。式典には、両名のほか、目黒研究室・目黒公郎教授、情報学環・学際情報学府関係者および当社関係者が出席し、和やかな雰囲気の中で執り行われました。

3. 懇談

贈呈式後、出席者全員で、寄附金の活用について意見交換を行いました。

- ・企業と大学が連携して進める災害対策研究の具体的方策
- ・学際的アプローチによる芸術環境の整備計画
- ・若手研究者の自主的な挑戦を支える研究環境の整備

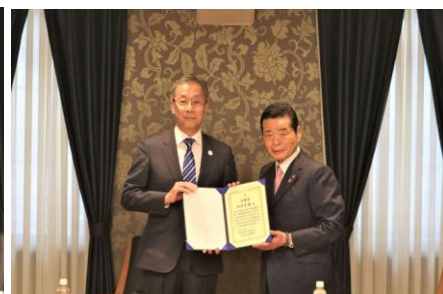
などについて議論し、今後の協働体制構築に向けた方針を確認しました。



左から、藤井総長、和佐見、目黒教授



和佐見から藤井総長へ目録を贈呈



藤井総長から和佐見に感謝状が贈呈される